

# ホウ素入り肥料利用による‘甘平’の硬化症軽減対策

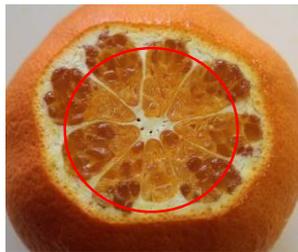
甘平は樹体内のホウ素が欠乏すると、果皮がかさぶた状になったり、果肉がす上がりの様な症状が発生する。ホウ素入り肥料を土壌施用することで、発生率の低下傾向が見られた。ただし、ホウ素剤の葉面散布の方が、速効性で応急対策には効果が高い。

## 硬果症の症状

果皮の症状



果肉の症状



## 施用後の葉中のホウ素含量と硬化症の発生



葉中のホウ素濃度  
(H28から3, 6, 9, 11月に施肥)

## 硬化症の発生率

土壌施用		葉面散布(参考)	
	発生率(%)		発生率(%)
ホウ素入り肥料の土壌施用	8	ホウ素剤の葉面散布	7
慣行肥料	11	無散布	15

調査年 H30年  
ホウ素入り肥料は年4回(3, 6, 8, 11月)施用

調査年 H26年  
ホウ素剤は5月と6月の2回散布

ホウ素入り肥料を施用すると、葉中のホウ素濃度が高まり、ホウ素欠乏症が軽減される

## ホウ素入り肥料の施用

ホウ素0.15%を含む肥料



ホウ素入り肥料

慣行肥料  
(有機配合肥料)

## 果実品質

### 果実品質

	糖度 (° Brix)	クエン酸 (g/100ml)	粗滑 (1粗-5滑)	果皮色 (a値)
ホウ素入り肥料	11.8	0.82	3.9	24.0
慣行肥料	12.5	0.96	3.6	23.0
有意性*	ns	ns	ns	ns

※ 調査日:H31.1.15

※ 有意性: ns有意性なし

果実品質は変わらない